利政府慶祝大會の賑ひ[wz] = #5便

構成立に収益を表して来た潮州関「見られる、新政府の外交革都を管」によっても新政府が日本との頃、

の登録完成を持ち第三国による正

時に議政委員長帯関和氏の談話

が可能であり或は近き將來新政権

の間に比較的早く外交関係の進展。く新政府と列圏との外交関係は進

澄々戦争中であるが大陸の左の如

而して未承陽期間内と云へども一面をとることを期待してゐる。

である。獨伊開展は日本と同様

獨、伊は近く實現せん

【北京十八日河盟】中華民國臨時一日本並にその成立に多大の野蛮を一掌する行政府は新農間に度すべ

根本基調を東盟一寄せたドイツ、イタリー精関政府

「北京十八日同盟」北京を中心と「指名にイーデン外相を原開懇談をする総章はそのに京芸様北京―― 選げた、存成内容は明かでないが、 を選問の「観察を取扱いを開始」 「解答師は文宗にもける軍事行動の

直通列車を運行

門部同明結成さる

繁荣を行ってゐたがいよく、來る。 イーデン外相の認識に致したと見 東波線方面では北京、石家荘間の | 一菱屋狀況につき最近の情報を提供

の一般旅客取扱ひを開始すること

但通列車が選轉されるとになった。原徳間利四百キャの

が大使郭泰赳は十六日イギリス外「碉巌を攻撃したといはれる、更に」 外相訪問 日同盟」駐英文 〇巻に指字江を題就し早くも安慶郭泰 英 【ロンドン十六】イテル領ロ情報によるにEA引服

體制完成と共に

イテル漢口電報によれば日本軍職

【ロンドン十七日同盟】十七日ロ 南昌市民避難 二十日から更に石家莊――順徳間 られる

は四十年の苦力と四ケ月の日子を一更に多數段配する意識を有し既に によれば揚子江九江附近の封鎖線、はれる支那側ではかくる封鎖線(上海十八日回盟)支那側の競麦、寮して十七日達に完成されたい

はれる支那側ではかいる對照線を

に十八日漢日において金國抗日總 | 南支八省に大規模に新兵事集を行

はしめ廣西省一省だけでも三十五 この新組職第一段の命令としては

谷を地直すべく個民政府監督の下

その所在地も時介石の居所その時々の脱酸に糖じ物輸性をもち作職根據地が大本管所在地たるの觀を呈してゐる

70、また原前大年質にもものは前後、落兵来戦時における軍が、政市、経済の最前転職者属としての機能を要失して現在る事歌編と化しつで、一般南省良明、貴州省貴陽等があげられてあるが、古來天喰をもつて知られる重慶の背後地成都説が31一次遷都を行ふべく眞劍に考慮中なりと傾へられる、その第一候領地としては諸種の事情よりしていかが年の追戦に備へ更にこの新跡駅東が解測した場合、漢口は當然、危険に 曝されその 餘 波は 重慶にも及ぶのでこ れが東次落典を検査として日文の瞬間は絶ち第二段際に遵文影響の第一級法測連級統州により半月形を描いて杭州に至る江蘇、安寧、浙江三石にある南及落典を検査として日文の瞬間は絶ち第三段際に遵文影響の第一級法測連級統州により半月形を描いて杭州に至る江蘇、安寧、浙江三石にある

に奥地成都へ逃げるか

敵、第二次遷都を眞劍に考慮

時上記事後表 —— (一) 南京攻略 强硬以下多数心各種规並に小統領 【上海十八日河盟】十八日午前九 | 兵器及、軍器品 に二十四サンチ

**| 損撃を感じたり(三)強め軍** 

一番に添く支那軍並に暴民二娘等

れた戎衣が輝く祭光を浴びる日の門をくいる日、血と埃にまみ 南京入城式 『境の道撃』が晴れやかた勝利 -世帯の歴史に不認つ [ベー

御英委・爆攻たる上沿方面軍最 海の精鋭は把江門より入城、題宮殿下が終揚線を進めさせ給よ 安那方面機能司令是官をはじめ けぐぎ

兵、一方『日本時』の背空には

息居遊拜 □天息陛下燕城□ 茂時二時中間は今べき大き移つ 感謝が東亜の天地を護かして午

12-3-B

た、決いで午後二時四十五分回

恐怖中のわが家は十五日午後二 北支戰線 英河公時一體 ンーダモ 記 目たし輯編にみ好人代近

首相官邸に入り近衛首相と容見 既政金閣師問機開設院問題につき

回答に不満の場合は

「東京電話」登屋照相に十八日午

首、藏、法相要談

强硬に出る

は反對

藥庭家之界世

と質問が出たに對してはどうするか に朝しヲトロー職員の提出せる暫

◆市來乙彦氏(貴族院議員)十七

天地支黄 **军力國家管理案突如再出现** -- 日午後三時八分龍山縣

行きます

負ふところのものである。 度大なる既特と霊師なる民心に

心とは蔣介石のために歌される 

異的靡價版配出版界の 3 线五十二 3000

この賣行き 増して・・ 御愛用家を 次から次へ 御愛用家が 確信があり その品質に 造つたものは 真心こめて 誠に感謝です この良質が

効

類お物質類点火外あび肌 そ化・純 か が あり無・純 が あ 後下疾病痛痛せ傷傷れどれ

一加工

城式は肥便せ上十二月十七日午デを加へる泉軍の蘇首都南京人

の日陸軍は上海上陸軍を右に統後一時争を勝して行いれた。こ

本の感慨」に輝いてゐる これ と時間じろして無難に行民役川

入城式だ、かくて陸州南司令官

四十十二四

つも至うして日本はの包ェ線を を通道したがロッドン政駅では日 ソ ビジンゴコ と 一枝が大火の部が主力を強打者来の両側 軽事件につき日本政府に正式拡議 政府の国客が不満是の場合 に用でざるを得ないものと観測しる部を特は南京的駅の中央第三 政府にまる土江日イギリス御戲園 出るかを試験してゐるが苦し日本 に用でざるを得ないものと観測しる部政がは南京的駅の中央第三 政府にまる土江日イギリス御戲園 出るかを試験してゐるが苦し日本 に用でざるを得ないものと観測しる部政がは南京的駅の中央第三 政府にまる土江日イギリス御戲園 出るかを試験してゐるが苦し日本 に用でざるを得ないものと観測し 【ロンドン十七日同盟】イギリス|表徴として現代に如何なる行動に|ギリス政府としては和常強硬態度 | 前九時三十五分臨時間終し先たち| 分首相を訪問して要談を遂げた 砲艦事件と倫敦政界の觀測 ハル長官と懇談 件について双方の情報を持ち寄り のアジア艦隊司令長官ヤーネル提一一方流軍作職部長リー提督は上派 日は別に本國政府からの連្なも したもの 六三二、〇七 抹殺して明確に反對意思を 右のほか候補者氏名投票用 元丁十七日左の如く政終結果を設 から野常した投票成績を加へ連エート總選舉委員會に追帰の地 つて來たわけではない』と語った 中の汽車、汽船中の投票を除るこ 【モスコー十七日同盟】最高ソニ 、日全聯邦内の總選舉投票数計を 選挙法第九條による無効投票 ーセント) 質成投票 - 八九、八四四、一棚邦ソヴエート代職員候補 成績を發表 蘇聯總選墨 答へた、またルーズヴェルトー

王等よりころ、殊に政界は日本がその誠意の「使御鎌郷氏は十七日正午附近に日本」「オー」「青までまるでき」。「人」「フシントン十八日同盟」

「年に南京路前後も他くまで長柳挺」「東郷日本る杉大なもので、これが「サンドリ氏(イタリー新聞記者)」 年に交【ニューヨーター七日同盟】支那一た、この飛行場に第月神百五十歳一件の衝撃者イタリー人サンドロ・ ロイテ 節中央車の割業 【APの報道】

|文房に十七日文部新聞の報道とし|| 干に増すると限じてある|| 十一名は水郷) は十七日年後四時||被を歌館してめるがAP通信とは、欧州のため角張した軍隊に八英五|| 他三名の遺籍・負標者で永名(内 パ號に性で上海着 門十分遊離現場に急行し來ったア

上海十七日阿親ノバネー院保に事」メリカ面鑑オアフ號で上海に野治

|市京路部投資組銀代する抗日戦||上の命令を襲することになった。|
「市京路部投資組銀代する抗日戦||上の命令を襲することになった。|
「市京路部投資組銀代する抗日戦||上の命令を襲することになった。| 全國抗日總同盟を結成

。福泉島から太沽に到着、太沽保

那人一千五百名は十六日英國汽船 「太洁丁七日阿盟」当島から手相 星浬地方を掘つてやつて来た支 支那人多數

京津を慕ふ

英、取止めに決す

日「のぞみ」にて家族同伴平壌 ナ七日入城、朝鮮ホテル ナ七日入城、朝鮮ホテル 重治陸軍少將 十七日入城

生成収決定打合せのため十八枚収売氏(本府未収課長) 鮮

対任疾抄のため十八日本赴來訪ト娯楽三郎氏(清津郵東局長)日午後一時四十分後列車で東上

水半様か合つてゐる問題だが

てゐる。 宋だ何處かに引つかゝりが疑つ

コせもうちよつとのところだ で、無理を押すのは客へものに

け自分だけは逃げ廻つて命を完

〇年 外棋 仙 阎 伯 表 紙 ○阿六版二百數十頁 ○阿六版二百數十頁

日本メンソレータム本舗

人の強く脱泉な三味線の者、漁路、この風湿りなお土産の調道に轉で迎へるお正月に軽適者な兵隊を一前に見る思ひで京都近では早速

一島樂壇→奮起

佛教團體も参加合流

によって収風景な頻繁やパラック

土産に決めた、それで我等の贈物一を呼び石らせる官太鼓の音に異い

京畿道代表二十八日に出發

古賀芳俊氏の名譽

お正月の陣中を賑はずため

驛頭に居並ぶ軍官民各代表

廿日に合同慰霊祭

例の難と散つた〇〇部総勇士松下

## 陸の精鋭、江上の艨艟 城内の戰火殘る中を堂々行進

赤星特 競地跡を京戦しつ、一路南京に向、に優まりをむった野難民の群が続一神し、爲に上空はどん十七日 世間れの望を衝いて上海波・を戦山への中戦には無数性に披耳攻戦一神し、爲に上空はどん十七日 世間の かが としむ 黒煙が天に 派員特づた、戦火の餘燼なほ立ち上るも のあるが近路上には開始する支那一〇〇に翼を休めた肥者の搭頭権は 人の列が横さクリークには悠々船一午後一時二十分再び南京上 密を飾いて上海夏、各職 山々の中職には無難に抗国政策 の 稲 を包む 黒煙が天に 此朝十時前者の旃養機は「と戦のトーチカ院もら物産く並び」さまらす、 各所に紅蓮 の如く追逐してある。 暫し〇〇〇

城の内 から顔光のみ際光に映え、地上の南京上 に埋められ 1面カーキの1色の中 東を貫く中山路は早や塔列の島軍 よりとした一度じだ、南

思聞のシーンは最高圏に選する、下をかすめ部製を埋かし配準する

本航空輸送食业の小川飛行士採錠

つた 無数の機能、これぞ 我が荒 列は職々と行道する、午後一時四

南京入城式の盛観を収めた京城日

南京空爆早わかり

参加延べ台敷・・九百機

る二十二日京城發

犯人隱避罪に認定

世籍になつてゆる以上、日本帝國、日毎に日の丸の鯤を探け、日本に「路に近く磯功、昭和十三年春の初の中・7 ス氏は日本に在住してお「陶酔椒梅塔を建設し、今後は視察「氏の勢力によつて生れた陶酔椒梅の中・7 の関旗を招換することは管然であ、新して敬意を表することを申し出一頭から大同族がへんほんと聞るこ

で度は年末賞興で

朝鮮防備に恤兵に

全鮮各官公吏に照會

勇士を心から慰め、さらに一行士

**久原房之助氏** 

城式を撮影の 南京福岡間四時間弱

皇軍への赤心 獨逸人神父が

尾澤商店

名譽の戦死者

キルク氏は日支事婦以來日獨兩四

晴山 一等兵總

東京市段神 ・ 福 引 労 附 賈 出 ・ 本 労 労 附 賈 出 ・ 本 労 労 附 賈 出

原際北方三百米の地断で旅客列

四三 四七 三六 一四四五 三八 四五 二八 四五 二八 四五二 八 四五二 二

心

省

組

合

而して 郷人経避の即は 那法常古

の公外に附せられるとになった。

# 遺言から生れる

女子醫専と病院 **亚鍾翊氏の遺見が申請** 

知らせ下さい、私の苦に一時押へのトンブクを不思議な楽です(百年の選方楽で僅か変先生の選方楽で値か

雙

本

作

市

温

Ŋ

+

新春野頭の農作芸園町/ リーしみどみと心に関れる 別々の間恋を頼むた男子の便

F

敏

かかった

ķ.t

f',jg

上げます

唄中

て才歌歌

蔵激胸をつく皇軍の歌力强き荒削りの表現♪

後一時から歩兵七十九郡隊の首席 男士を用ふ合同砂量祭は二十日午

深阁中特祭主 市京城神社宮司

商議から祝電

に英麗安かれと歌いれる種に、

の言語

葉原

0 0

しぐれ族

缲

Ŧ



あすの日曜府民館で

少年も

ばせてくれます、ブログラムのと 祭にいる置い職士しの可愛らし、鉄路の意識、史歌嗣に皆さんを登 (戦災を主き起して京日コドモ会) 東にいる意と ない こうしゅうしょせん 人気 大き かんき

普通學校が二つ















第一次 中央 大頭右衛門七の母 森田 中 東 海 の 顔 役 春日 井 柳 会 老 の 瀬 春日 井 柳 会 本 ナード・(・セッー) サード・(・セッー) サード・(・セット) サード・(・セ 

子做

子供十二ヶ月 南に散行か

る進奪曲代

征

<

鈴木光太 给木 光 太郎 田 山 陽

## 賠償献金を募る 赤誠の 安東市民 が準備中 ちかく全満に飛檄

開州国の和平の姿を米國民に知らしめるすり市民の熱

本部へ申遠して本部の指揮に幾つて全端に呼びかけやうと

### 止定城一番乗りの 一鬼部隊

列明し早速本祭に拘捉した 田群山署長

解待ち中に露見し

半敷だけ敷珠繋ぎ

高等課長に

東市「岡本橋部隊の〇〇隊長と | て勇名を謂はれてゐた、一般来亡 | に不衡な騒があるところから前記 人となったクラ子さん。むに去る

鯉登部隊を激励

松葉杖で戦線馳驅

輝やく武動夢みて冬籠り

中村部隊長から陣中便り

領点部。府内接頭里本川浩さ 預つた娘を 買り飛ばす

中台せ一致して努力をついけ

第山】本年一月以來應南○愛婦 為六千餘名(不用品處分、

同国家長始め、職員一同はそ

| 內總店里六鹏內行商李欣]| [平壤] 十七日午前]|時世分顷府

お化け刑事

に告訴に及んだものである

非常時の出初式

度」一萬人の熟鑑になる大日」に前婦として変り飛ばした

が平壌。日年訓練所の手になり

成南第一〇三四號乘台自動車 五名を乗せ成興に向け疾走

町二丁目金順繋(ご)の四名は頭部 相極("))一は 間接過 同我 仙後

あら折も折くや次のやうた柳坂(に陬坂し巻を府内山手町二丁目間。||土本陶吉(常僧)の附名があげら郷く一般に非縁の繋が高まりつ。氏つじの自襲車を輝け版し、左側・||土布蔵模者として吉村手一(繰り)

山本像者(常備)の耐名があげら

虎院里 骸忠焼さんの 三女芸品

の傾例の消跡田初式を山手小事校、用して流管を行ふことにし時民に「平道」平道消跡総では、月六日(箇、五十キロ譚一箇の燃功譚を使 焼夷彈を使つて 平壤消防隊の演習 原英四に関する貨物教育を施する

各地に轉戰して武勳輝かし 惜しや名譽の戰死 **卵名は件の男を同行して附近鏡頭** 

あつたが内外の信望を覚め、贅琰 野山野田田町三氏は十六日間 全北道高等階長に祭得した。氏 静山】養神終署長の異動によつ

またも自動車禍

今度は成興でバスが颠覆し

乘客五名 ぜ重輕傷

収容力なほ不足

我らが教育機關を演売せより

各地に眞剣な運動

で暗面に数減とも数知れ以診取やで暗面に数減とも数知れ以診取や

クャジ作

点 では東(一) カ・スリボーは入 プルアピムロコ

作成型であった。 ではり東南の川速に状土流動 はた方自り駅に単立が長柱の はた方自り駅に単立が長柱の はた方自り駅に単立が長柱の はた方自り駅に単立が長柱の

一一をには国民唯一の航安場となって

邑内の西方約二十

6,35 2,15 7,55 3,35 11,30 9,15 4,55 0,45

9,35 6,16 1,05 種 Or (二)順主子解析花 耶太 映土ドンテーオーナーワ フ 以エターテクエメトルホ・ク) **伊州 キ ゲ カ** 

その政治的

丙の西方省尺駅形が岩峰立、京東側に竹が寺かるつてその京東側に竹が寺かるつてその京東側に竹が寺かるつてその京東の名。初橋時代には、

③日活日活日活日活日

光づ出問は

ものが四名もある ものが四名もある 特は里(男)金龍渓(こ) 最後里(男)金竜渓(こ) 最後里(男)金竜渓(こ) 砂谷田(男)金竜渓(こ) 砂谷田(男)金竜渓(こ) 砂谷田(男)金竜渓(こ) 松谷里(男)金竜渓(こ) 松谷里(男)金竜渓(こ) 大田里(男)金竜渓(こ) 大田里(タ)金一代(こ) 大田里(タ)金一代(こ) 大田里(タ)金一代(こ) 大田里(タ)金一代(こ) 大田里(タ)金一代(こ) 大田里(タ)金一代(こ) 大田里(タ)金一代(こ)

場副城京高

三時郡内の九二時郡内の九十郎以上の高 総着に迫役面 総着に迫役面 総者に追役面 を形頭に男子を紹頭に男子を紹頭に男子 

二光縣院鄭院長

京城 田 强 5条城田 强 5条城市大門澳三丁目

角消防・赤瓜筋・大泉・大泉・大泉・大泉・大泉・大き

美切な際に、この方 計のある勢師が三光野

氏である

本 店 本 店 本 店 本 店 本 店 本 店 本 店

二のそ

に緊急感象

これも躍進過渡期の副

産物

をも駆託されいよく 多指を展工程並に近土銀行房 用張所の際

**就後の赤誠** 

京澤氏は大正 駅を優勢な成 駅でを優勢な成

をしてその名を際へてゐ としてその名を際へてゐ としてその名を際へてゐ

会なことは幻他指便が

座金黄鮃 每夕六時間區 漫歲飯演大腦 整体の外三十二

高學 座日朝皇

四軒、所添河作者里までは自動車 に出る。幻仙路はこの村り此處から十軒歩けば同

(D)

K ⟨⟨⟨⟨⟩⟩ €

見事結實

**川圭界**の

「大大さ人跡未結の飼乳滑で 「株子で人跡未結の飼乳滑で 「株子の人々の兵型の選難 はり十年前途も原列で、 に知過でいる。 には現での人々の兵型の選難 はり十年前途も原列で、 には現でいる。 にはまずかと にはまずかと にはまずかと にはまずかと にが、 でのもれている。 で、 のので、 で、 のので、 で、 のので、 のので、

醚宋本仕被捅與行

様肚散、極めて廣面積 

ある。三時都所達面道茂里から江陵郡最禍郡まで總延長三十主

無してゐるが『ハッケ粉―十七と がに及び常時五十人の人夫を使

殖銀支店怠よ開店の運び

更に都市金組の設置要望

三陟金組 大三三年1

金淳默氏氏は神入起立本が中の

般の人党を集めてゐる

してるる

し再終那度計形に油肥工場を包費

る本部他把製造業は氏を以て嚆矢 とする、俗かならロ父業を繼さ近

金龍涉氏式茶等

即中省増漁業を主義とし東西、

人の信用も高い

香山麓に像谷北級な二院産生宅を柔和な緘士である、生地汀路、六

米部水産界の王座を占め

の間見ゆる苦難をなめて今日の大 んとする全生誕を水声界に出まる。海地曳桐時代から五十の坂を超え

三 静に油肥工場を有してめる 八原 計画 水 水 虚 育満り、三 勝山 神 二 見 時 山 神 二 長 時 山 神 二 長 時 山 神 二 長 時 山 神 二 長 時 山 神 二 日 神 山 東 か 正 日 神 山 東 か 正 日 神 山 東 か 正 在 リ 今 春 石 間 中 央 由 石 に 場 市 コ ン タ リ ト 二 滞 型 の 事 哲 三 を 市 本 リ ま す ま 市 新 帰 し て し る 「 2 眞 は 全 遠 淳 氏 」

となったことも勢しい である、水桶に攤まる

しめ派具漁船は勿論工 常に事業は積極的にこ 次また共存共衆、人の

三水組と六氏のプロフイル

環席代別に上地元前里と、 大統領ではれた時代に新教養担他 関係に対すことが、代表に今 無が呼ばれた時代に新教養担心 のが代の信様である。故に初す 原が呼ばれた時代は新教養担心 のが代の信様である。故に初す 原が呼ばれた時代は新教養担心 のが代の信様である。故に初す 原が中ばれた時代は新教養担心 のが代の信様である。故に初す 原が中ばれた時代は新教養担心 のが代の信様である。故に初す 原が中ばれた時代は新教養担心 のが代の信様である。故に初す のが代の信様である。故に初す 大統治である。「高にな無治者のと 大統治、第一次である「高にな無治者のと 大統治、第一次である「高にな無治者のと 大統治、第一次である「高にな無治者のと 大統治、第一次である「高にな無治者のと 大統治、第一次である「高にな無治者」と 大統治、第一次である「高にな無治者」と 大統治、第一次である「高にな無治者」と 大統治、第一次である「高にな無治者のと 大統治、第一次である「高にな無治者のと 大統治、第一次である「高にな無治者のと 大統治、第一次である「高にな無治者のと 大統治、第一次である「高にな無治者」と 大統治、第一次である「高にな無治者」と 大統治、第一次である「高にな無治者」と 大統治、第一次である「高にな無治者」と 大統治、第一次である「高にな無治者」と 大統治、第一次である「高にな無治者」と 大統治、第一次である「高にな無治者」と 大統治、第一次である「高にな無治者」と 大統治、第一次である「高にな無治者」と 大統治、第一次である「高になる無治者」と 大統治、第一次である「高になる無治者」と 大統治、第一次である「高になる無治者」と 大統治、第一次である「高になる無治者」と 大統治、第一次である「高になるになる」と 「一次である」と 「一次である。 「一次である。 「一次である。 「一次である。 「一次である。 「一次である。 「一次である。 「一次である。 「一ななる。 「一ななる。 「一ななる。 「一ななる。 「一ななる。 「一ななる。

のを搬ふ人だ

ルーつに至るまで人に一を主張としてあるか人も知る連り

(第二區底曳納、 鯉山煮納)

事業家

銅店釀造所

腕の人 黄氏

多角的な

氏の成功は値かこく六、七年間に

氏は江原道で建の人、数年前来は

し先で制力を造所を一匹数十回で

上都建設、開發工作の數々

堂々たりこの陣容

三陟漁業組合

|「動印質網租合用級技、三郎|梁の許可を得「途平野成紀を駆けに現に第「承旋曳撃、蝎巾留」昨年郡内遠端東水市電前発和級に現に第「承旋曳撃、蝎巾留」昨年郡内遠端東水市電子業を完十二の数千頭に上るといよ

整備した場内に設備と完整を贈る もので潤頂年虚三十石に及びその

脱資料とは質し領はしい限りで

制店機造所は氏制人の経費に係る

公既負債も所得税のみで | に水彫状に進用して干食平・今やっぱには帯賦っ大学を投 る、光来費養出身の人であるが経過に活転っ大学を投 | たっぱい | であるが経過できます。

職人し者々に計選を進めてゐる 職人し者々に計選を進めてみる 要するという既に採出の海本を 要するという既に採出の海本を

あり又明師に隣相曼の友情がであ

鄭炳俊氏 氏は真面目

供給したといふ

送電路機の程設も氏の手で電柱を

越した職見、優北な化郡の金井橋 でゐる、實に多所的な事業派で中 の抗木の精真、、木林茶等を響ん 世自らは思り三木建業諸負十級協引き受け合弟黄星泰氏にこれを任

観心に高く虚薬、教育

は対した
 は対した

後投資和で具等の要職に
、北三面医療す員、北三
、北三面医療す員、北三
と、北三面医療する。

得山、東京の関語造型を貨板し が乗事心情語の改善・販資 極 に好来の問語の改善・販資 極

力氏 職

> ンテリ洒屋 1、専出のイ

といふでれた氏の獨創に成る殴らして使用に裏利に設計され たが異に素いしい、糖で電匠を氏の条内で派遣者の隅々まで見

〇篇志示

百妻を投上常呼の近畿酒造場のて清遠等に方向を轉した氏はで水を開催して心たが惟る所あびなを開催して心にが惟る所あ

京春鐵道株式會社

芳に特約店を设けて配給の削滑を さった年二月書記、火泉加寅世治二百石を生産・原山・東幕、孟 動車交通網の繁輝・数多の功概を、この食品は年減酒一十三百石、甕 化の助発変後への貢獻し大きく自この食品は年減酒一十三百石、甕

一位を一歩を取したこれを重要を報じた。 て現在の近た演遊会養質融を組 株式會社文館人へと質様地に多幸

た第一歩を取した氏の地方産業文

| 警察婦長から三世的総合河自動車

幾多の功績

次票式: 近藤氏

産業助長に

一は大いに脚係されてゐる

近く開店の虫である

千関を投じ三砂面校里に江原道第 紫の將來性に消脹して現に一萬数

といほれる火柴耳里を建設中で

疑して本于二月退却 火栗助夏掛

によって成功した清社三時だけによって成功した清社三時だけによって成功した清社三時だけいよれば、東京工工具は 東京工工 は 東京工工 は 一般によって成功した。 ないふれんた 最後によって

から時間政立の心臓等、氏の力

一般家願ひである。重な事業は三陸郡に関係のあるものだけでも

益々重要性を増す

羅洛の修築完成もなよ迫る

遠藤氏の哲學

は漢夫達が殆ど平北人でめる割合には販貿石数の

新楽し活造の改善に安してゐる

を 克く部落民の信用

いふがこれ機で氏の苦一放つてゐる

總工費一萬数十四を投じ本年七月 で、数年前に比べて四倍に ・ 放年前に比べて四倍に ・ 放子前に比べて四倍に ・ 放子前に比べて四倍に セダン 酒造場

完全無缺の設備

道漢鹽造 任地・・氏 那内でもその数級を額はれた人で たといふ道送洒造器はモー秀の納税模範画に仕上げたのは質 に氏

に

気力

に

よる

もの

で

面産業

の 所議画をして今日の如き道内最優 である。興味深い話である。マッカリは飲まないかったわり

伸度に寄典した功能は不認の光を 未老の偽志家

▼ した人で 放布は 中本教 した人で 放布は 中本教 で之を 三受 レー来 風 よ物の 横振 で之を 三受 レー来 風 よ物の 横振 崔末老殿造主

在り面粉の小光に加強してある。」に乗二十八十司となる。自然の別域の有様件从供利者投降の要職に「特別店を開発して開始の迅速を開現して明始の迅速を開発した対域音を暴し五ケ所に 未老職造場は昭和六年の段立、現 し工費ニナ八百回を投し酒造場を

「可識・汁濃消が軽減・江原流盤」である、日下三砂面線・三砂金板・砂塩が低速が、蒸煮がの物に存储が、水料点で、瓜粉小面、三砂である。 朴準龍氏 Lは今年世 てる 公職を有し

記である 配である

由帝 相流域、 東京管積追業権を有 の制味する事業は なる、元より都内の豪電家でその鯉 含む数に氏の制味する事業は なる。 る質器家の重徴であり活動家であっぱみのある非常家がある。 理黙に で、逸淳氏 いの田来た

盛り、然し前に似合は如底力のあ

行つても規範で関んである。様は一門の様は、いや支那の様は何度に

土や瓦や石にて田來た堤壁、大

触の様子を形づくつてゐる。

しかし近代観の前には城壁も既

よりも磨は一脳会会であり、勝よしてくる。それは東西を同はず跡、機能にが異な形はそとには在らぬものは何よく、湾よりも別は郷に 一級の麒麟を見ると、時代が下れ、排網は飛ど五六の記数によっものは何よく、湾よりも明は郷に 一級の麒麟を見ると、時代が下れ、排網は飛ど五六の記数によっをとらる。現代のものよりも清の に贈らりと思ふ

りではない、普通の民家でも城

直質である様に見える。支那に例

して李朝萬術への新しい嶽陵を世一

の美は単純化への復品であつた。 る事が田來。既に叙述した様にそ

形はより王利にせられ簡単にせら

此理論は東洋の藝術を概拠する時が川來る。私は最後に此事を指摘

作であると云つて卑む様に見える。此法則が破られた個所を見出す事。史上の異例を率朝の際難に於て見

『併し多くのものはそれが末期の一ある。少たくとも階級器に於ては

を、柳宗悦氏の論文の一既を引い

あると安ふならば、それは鍛錬で、質に此事にあると云はわばならぬ事であらう。俳し例外なくそうで、共に駆惰が除落する主要な原因は

然るに否々は質に興味深い藝術

題るに、文献役に於て粉來され

武装せる兵の城壁を出て、何成と

を求めるであらう。之は大郎分正一術を託さうとしたのである。自然一自然に一つの器を造つたであらう

はない。それ故に此の法則に従へ一でなく、自己の技巧への意識が主一つたであらう。器は生れたのであ

への無心な信仰がその作を座むの一後等は健作に對する意識さへ無力

のは更に痰を動ね周にさへ高い美ぱ、人は自然を離れて、作爲に動してある。し

りも六朝に骨深でがあらう。或も一け難い若果であった。云ひ換へれ、精緻な絢爛な色彩は知らない世界

してくる。それは東西を時はず壁

一枚誰で奇異な形はそとには在らぬ

とだった

聞され遂に駆かすべからざるもの

一如何に附工は無心に

方法が時代的に関解 支票券

『北支を描く』

本航转服員

鶴

田

吾

郎

朝鮮陶磁器漫筆

在京都

名物『荒馬

馴し

北支の夜は明け初めれば瞬く間

馬は素をしては最も

はそのまと北方に走り行き今回

殺した時、その頃から牛馬が出 とか、楽識明尊が天田馬を辿桐 宗教技略の必要上、軍馬を重要視 所大である、マホメッドは自己の れらの健使の子孫が大切にその宗 た、自身も五頭の名馬を飼ひそ

られる、かの宇治川先順の功を事 即級によれば、昔の日本の馬は四

明我 図の思はといふに古

七の青年は恐い小父さんにつ **ふ所で自動重張協を働いた**ア 避されましたが かまつて、やがてデー・ユー ルピン・サンダースと云ふせ クツク影判官から判決を習 や五ケ年間の機関を命じ、 間彼の好きなアルコー 香むものはピールも一切 この判決た 統を保つたのが後世に懈はつた了

題切もいけないと、 アチラら て忌服役に投げ入れたなど ランスの解析的名本地グーダ・絡る国々の展現的物語り、成「ヴーヴレープランスー」フ・酒の起源から始つて指摘語に

**心管仲の馬、購羽の乗った赤**ルには有名なかの鬼音が馬を

アリシャ神話の怪女メヅーサが沿馬等の故事がある、西洋には

が腕列され、又能悲雨の製造 ので、館内には全世紀のあらに取つてゐるが、フランス人 の結果開設されるに至ったも

質師では古今の統否を表拠者

置つてゐる所へ出入したり、

葡萄

博

物

舘

古今の銘酒も賣つてゐる

ラビヤ馬の五系統であると言はれ

み遊牧の民によって耐愛されて現在アラピヤ馬はベドインとい みるが、今でも優良馬の保存生 を変が、今でも優良馬の保存生

一例を暴げれば、彼常は牝場の一つた、そして馬の改良が則述とさ館に観覚な兼律を守つてある。一馬の誰と見多りがしたことであるるが、今でも優良馬の保存生

刺吸となったのは、北沿岸銀の 各層から発表った軍馬の間に我加 **地大して來たが、この馬走改良の** 

に入つて平戦階時に場の必要性が つた生咳、酢品もせいぜい四尺 尺七寸位が大きい方であつたとみ



| 放い| 一 縦ひ向ふ冊ケ年を馬政計畫の第一 地方| 脚の交配によることの根本方針に 計選の下に改良すると外國種の適 **牧場、福馬育成所、福馬所を設け**棚とし、関家としては各地に採場



は多くの歌戯の鳥の支配によつて には殆ど、全部合國種の的液か、入 った。しかしこゝに問題となるの 以間上の如く第二次馬政

きな悩みとされるのである必要とする軍局資源の立場から大 持つ子孫が現はれると同時に、殆 となると雌雄崩烈館の優良以子を 事は特にほど揃った種尺と能力を ら時には非常に優良馬も出来るが遺傷學上の法則から、阿に牝場か 性因子を遺憾する手張が多くなる といふ厄介な事が出來した、この また沿岸島も武れる可能性か多い

ふことであるが差當つて顕有線民有種牡馬を全部則有にして了

13

平京 ・京橋 ・銀座西一、質楽之 徳(河上)卅峰 「手段」(七十段 徳(河上)卅峰 「手段」(七十段

防武器に関する挿話も豊公の時代 題では、伊藤公を廻る幾つかの 日又、日間役後、伊藤公と、其後

元されて、長く今日に御來し、今 茶人、大名道に、其の風幣組品を愛 の内地人によって、再び鑑賞は一 たる朝鮮階間器は、豊宏と常時の 層に些んになって、其の眞價は檢

風寒と伊藤公の書

一个時のラギオ

進一▲八時管弦樂(京)四十八年の大時幼兒家館(大)十八年二五分議。(京)法掛博士公司(城)鈴木正文▲七時三八分議。

はれ島軍職党に輝く赤縄をかざっ

模の一室にからげてあるのがそれ たがこの名都城南京の路路をめぐ 客! 中にも同一句が見られる、 中」の上言語、この南朝とは南京 で『南朝四百八十寺多少様古用版 つて初代統医伊摩公に南京にちな みある響がある、京城南山町天眞

位してのませく 彼女に彼女の心を聞くことも川孝

一覧は『コルコタ』のロベール・ル のピエール・ブランシャール、助 ナール、主流は何じく一部と配

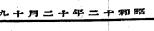
種をアングロノルマン、意理なレット、アングロアラブ、中間 力針が決つたのである

私は撮影と掛いて来たこの有着一批貯水質質であるのは含み得ない一美への反逆である。時代の下降と一放つて、暑へ、其の値は高質の限し ばならない。そして、ファンは、 あらゆる方面から、絶蹟の言葉を に全盛を極めてゐると云はなけれ 今十、李朝陶迦器の鑑賞は、詩 に種馬を軽極はアラブ、サラブ 力、速度等々の科學的検討を行ひ牝牡等につき、その類引力、持久 備工業と共に認識すべからなる国 に馬政の特殊をより賢明に發展せ しめんとするならば、各種系統、 家産業の一である、健つて若し更 かくの如く馬の改良、飼育は電

新刊紹介

と私も信ずる





戦争にも平時にも

た馬は協同者

門前の字

いくら手概を出し、家へ行つてしまつたのです。そー けはありますが、それから後は、 それだのに、結局、彼は彼女の

店 商 木 館・社會式株・舗本素の味・達用御省内宮

完年會の夜、彼は、そんな原道 然 軽えて心ません。 たじ、厳然たる事實は、それ以

ないと思ふと、ちょつと躊躇されで書いた字であることを直路 呼出す際にも行かないし、從つてりついてあるのを意見しました。 し、行つたところで、直接彼女を「ふ英語が、ガラス文字みたい も手握つて、すつかり泥酔してし 事だけです 酒の酔いの力を借りて、彼女の の戸を開けると、前のコンクリー 卒、彼が彼女から輕蔑されて、 彼女は、それを見て、彼が小便 彼女が、翌日早く起きて、玄闘 騒みられなくなつたとげる1

ても、彼女からの返て、彼女の家の前へ立つた記憶だ 彼女の方には、自 すつかり天地提供になつて、何も

とには

と言つたつて働かねばならない。 働きながら癒したい!と言ふ以 充分な防寒保温は無理だ! 排除はこの際何よりの耐寒工作! たら、治療薬アイフによる病原

痛む許りでなく、僅かな刺戟にも腸の蠕動が亢進して下 胃腸病も慢性になると、禁養の低下から身體の衰弱が萎 内壁には疵や爛れまで出來てゐるため、食後や空腹時に **冷え込みや食物の加減にさへ下痢、腹痛を頻發させがた** でありますが、これは長い間の無理、不攝生に胃腸の機 しくなり、寒さに對する抵抗力も鈍りますから、僅かな

やすいこれからの寒冷期には、防寒、保湿より先づこれら 趣を計るなども望み淡い輝でありますから、症狀の増聚し 期したり、消化酵素の分泌異常から腐敗又は醗酵を起して ありますし、木消化の荣養剤で胃肠組織の強化や荣養の促 い脂肪分を澤山攝つて勢源を充實すると言ふことも困難で 下痢するものであります。從つてかうした方は、熱量の多

根 落陷京南

併せて、胸やけ、噯氣、悪心、胃痛、腹痛、下痢、嘔吐、消化不良、食慾不振等の諸症狀 からの寒冷期には缺かせぬ治療薬こして賞用せられます。 の炎症や糜爛、胃腸筋肉の弛緩を癒し、腸管の蠕動異常をも整へるここが大切であります をも消退して胃腸機能の健全なる活動を助成しますから、冷え込みから惡化しやすいこれ 整へるごゝもに、膓管内の有毒物質を吸着して體外に排泄する等、廣汎な病原治療を營み 胃腸内壁の病變部に沈着して炎症を癒し、粘膜を强め、弛緩を引緊め、分泌や蠕動異常を それには單に止瀉劑を用ひたり、消化酵素を補給するご言ふよりも。病原である胃腸粘膜 治療薬アイフには恰度かうした病原的な治療作用に加へて、對症的な薬効もあり、主薬が

町之西谷水清區東市阪天 商 和順爾本賣亞 卷三〇〇五·二〇〇五·〇〇〇五(東) 萨霍春五四三股大菩擬 故 卷 九 町 內 具 區 坪 本 市 京 東 亦(本) 目 丁一通縣山市遠大連大

僧 日 三 分日七十 数五十七 分日四五 分日十 9 付 数十五郎 - 分日八 ア級加はに起路で・フィア製物はに起源

▶りあに店藥名有の所る到國全◀



电力聯盟側の最後案内容

(1八年) ま 1-25 14-45 にチョイ (統に堪へた奴が、五 た以で死人の山を築いて御野に入る 18-00 押し、小山へ登つて飛ぶ、飛ぶ時、ません、我は破害は知らわえが力とが 18-25 18



据 第 元 并 天分二

と力足を聴鳴らし、

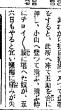
(島間 昭光仙)(分二)(島間 元市三仙)



川正米山況

京城支店貸付

ければいけません 共れから毎日朝湯へ入つて企事



聞ではいけません、早く召物を てお在でなさるのが導ひ、併し

| 第一イヤイヤ潜物をつけた所が浴 大小を帶挟み、五助に於てはトウ 衣だ、部く採曲で勝負をしよう。 と視壁の上へ確かりと帯を締め

放平野町 國井 鹿 斑 ☆紙・百貨店にあり

(52)

一龍齋貞火演

俣 茂 彌 髙

がなからうと見る向が多で今代共和場は墓碑に推って今代共和場は墓碑に推っていまればいる。 不は買控へ

うな、どうだらう、上から飛んで一選の極めだ敬信をしろ 氷まだく。近助には減びませぬ。一命説加の奴である。汝存命中は

五場が小山へ上つて身體に調子 定めて能く見れば、大隅戦右衛門

中野蘿一郎、中國線次、井上浙九

(With a Bar Annual Carlot and Annual Carlot a 球「ア森い」 球く飛んだが、 がと飛んだが、 と背かない氣になつて繭之光が|之丞を見て、此奴が居ては枕を へ乗込んで参りましたのでありま く疑られないから段して了はう いふので、若辞共を規劃して是れ



五『ナニ若旦那、御心配には及び更ら続へは引けん』 致さん所へ、思ひの外の大勢、今

れます、若且熟質所は大小を持つ

| 1845年200日 | 一般が応じて居りますと、或日の | 本い本れとが構べに及びました。 28人で、其れからは毎日毎日 | 個にトウノ と打ち扱って、サチーの | では、またい。 ないまれる | 一般により引致いて、核もでもず其

東京コール W CtOU 五「お願みが取れましたか」 ん、マテンな

助といふ者だ、巡察の肉を食ほん、現の飛道具さへ父の特物 俺ほ五 |五『サア此奴らア、能くも俺の釈 父を飛道具を以て殺し居つただ。



れたのは海に長eu様みである ★一月。日 午前五時冊分四 本一月。日 午前五時冊分四 が開び時間の一分級且奈 が開びまする。 周十時拜賀、伯爵之二位勘▲二日 午前八時晴の御贈、

全支朝野の反省を求め

王軍の決忌を表明

松井司令自談を發表

りつくあるので、外籍省は十八日担らず反省の色なく邀述の日を送 脚政府に我が方の再三の督促にも

日都漁業條約暫定協定にある勿東京電話】昨年十二月頭取を見

にてその期間部でするが、

猛省を促した

記さなく、帝國は段然撤益所護 即も三月三日函館市長は外務省 即も三月三日函館市長は外務省

依頼に基き外務文官に蘇聯政府協會から外務省和北神道市民の

外務當局談

新年宴會御取止め 配したり、又は紡錘にからつたり 化典録古英術などが戦闘のため戦 北京十八日前屋』山西省内の女

山西文化同盟 會設立さる

後は兵力を以て之が保護の任に當 七日山西文化問題會を改立し、今 に〇〇郎は長十年初機関の手で十一 Qことにたり十八日太京城内の民 |等多数あり、しかも三十餘名の配 れがあるので、之を保持するため と 東洋文化の至實が失にれる思 れば支那四軍は南京野失以來漢日

のうちには蘇聯製工場機 総職機 支那空軍の駅カは外人によって際にその主力を集中してゐるが、右 人も支那四軍に急加してをり今や 【上海十八日同盟】 漢日來電によ | 行士はスペイン政府軍に題してゐ たこともある、なほその他の外

しの連絡食職の經過並に結果を 漁業條約交渉に就て

り之を決定するにずで、十八日は、ために関かれた十八日の臨時勘議、と内閣との運転意識において前後り立を決定する。において全閣位書見一致、大本督の関議において開定力が進一致に関する話録の景策を決定する。において全閣位書見一致、大本督 政府との漢語資職において決定を なる要素について会際傾倒に完全

について歌謡で完全にこれを承認 **加事時局長その他関係官を投数し** 対山出田に甘田に南南大官 陸相關係官に報告 同雅な感觸を持つ近代的な 色調と E

肥城北方の

東泉泉

ckio hat

4 購め乞ふ 一流洋晶店 一流洋晶店

蘇聯の猛省を促す

方四里)北方に敵大部隊を改見 する職に果敢たる機能振動を行ひれに猛烈と爆撃を加へ、更に問題 万黄河左岸東崎。平欧の敵陸地信 は盆々駅気強く大黄河雨岸には南

即氏初め職會提取委員を招待し

豚け

健康の障害を

簡便に除くには

帝國政府の探るべき

極東問題協議

疲れ

り捕尿問題を中心に重要協議を遂

情報によれば新鮮動動支大使ルガ【宝泉電話】十八日確なる院への マフ・オレルスキー氏は、十五日

既一路影被百二十年

四十銭(表面)国五十銭(表面二国四十銭置置三関上げ)最高三十五国四十銭(表面一国五十銭(表面二国四十銭置置三関上げ)に決定同四時銭等した

四本年上り公定價格協差の批學統計を表妹三等に製見したため、公

米穀新制委員會の決定事項

蘇聯の不法行為に

嚴重な抗議を提出

人四名何別され我在アレクサン、本年五月以降北極太に於て用

主急責任ある回答を求む

党員會に十八日午後二時農林大臣官邸に開育 荷見米野局長より米

農科省業を中心に審議を重ねた結果

60台に十八日午後「岸壁代大玄宮垣に現存」皆見朱牧前之より米 そくこうしょうこうさくこう てないて公【東京世話】昭和十二年本の公安議婚米價を決定すべき米鞍総總 完全り



## 保存に萬金を期すっため方法を講じてある 漢口に集中 勢力は外人に握らる 米内海相、宋次内相、賀屋城相を一も午後の開闢において既定方計連、町に関する諸岐の劉策を決定する

中心に各閣域の間に忌憚なる意見

時四十分より首相省甌に開省、近一なる誤解に認識したがなほ子後1| なるから海前資訊は二十二日又は なる背鍼を鑑識した結果、具備的足のため魔時間講は十八日午前十| たが、大種の方針については完全| 含円、御前資議を実持することに 見た各戯の對鍼について真に慨重 望相以下各関館田席大本層と内。時半より閣議を遵行して最後的決。その後に題かれることにたらう 意に影響する帝國の根本力戦失一定すべき封策について協議を遂げ、二十日改めて宮中の词都合を同ひ 京電話」南京路路域の針支薪」の交換を行ひ、策頻政府として決し土職日のため近南首拍は参内せず、は午後二時四十分共間、大本者と

定をなすことにし零時年一旦休息(日本京電話)南京路路を契機とす。意見一致を見たので、茲において

した、御前食職奏語の件について一る帝国政府の第二段の對支根本方

目の開議で決定した南京経路後

敵を猛爆撃

外務省當局談を發表

行撃を與へて勇振闘遣した

以府側より首相以下各門伽田席 生音相信邸に索職院の小山、金光 映台 + 切迫したので来る廿二日正 に連絡し就て機能するとになった 「無路會策を中心に、政府と緊急

蘇聯駐支大使 漢日に到着

公定標準米價決る

最低二十七圓三十錢

最高三十五圓四十錢

ること 中間ソヴェート政府より使用ナ に改組し、河政治職員の主急を、州民政府を抗日人民職線政府護官「非藩したが

十二日操殺士二百四十名と此



すべき明年度兼算の編成に忙殺さ 於て主力體一隻を建造する唯同一 ン紙はアメリカ部軍省は明年度に

位 | 領は明年主方體 | 接を建造するに 一般八整 樹水樹六数の建造に落手

> 萬年筆卸廉價提供 店具根新版カルログ品 **聚华野鄉** 澤井商會製作所 大阪市北區都島本道四丁目十二 極端東北九八九 最高解

12-26

に移り、その一部は直に江北地方、又他の一部ま所工、そ数他テニコトト・ニモル・ニー・2年の新たな體勢、軍は南京を占領し昨十七日晴れの入城式、本十八日麒羅祭を行ふや直に今後の作戦に即應するため新たな體勢が8皇年4後の行動につき不過縁の後裔を弊近素明・左の2皇皇明を褒した。

その一部は直に江北地方、又他の一部は浙江、安徽地方に向ひ急ぎ作戦を行ひつよあり、然し年ら軍

るもので、今直にこれを云ふとは出来ぬが、思ふに狂忘地方の軍民は過去の醍醐により少からず脅威を受けたゝ再度の作戦の準備をはかるはずである。今後の軍の作戦については實に蔣介石並に國民政府の態度如何によ休養の必要あり、この間において軍は新たに軍備を整備しその作職地方における繁備、市民の宣撫をほかりつ 全般としては上陸以來四ケ月に亘り間斷なき湖會戰に引續き、追擊戰に移つたため相當疲勞してゐるので若干

ものと思ふ、又自然でれにより國民政府に反省の機會を與へたと』ふ

社太黨解黨期成同盟 聲明を發表す

しい治療効果を示ので存名ですがは忘れずすぐ妙布で出手に影がは皮下に参遊直さい。誇る楽がは皮下に参遊直さい。誇る楽がは皮下に参遊直さして駐帯に引がは皮下に参遊直がしたがある病疾の痛み、活動寒さから來る病疾の痛み、活動

慰問袋に

對支根本方策決る!

こんな場合

素晴らしく効く

肩腰のコリ リウマチス

米の建艦 郷育紙の報道

【上】堂々南京へ仰入城遊ばされた朝香宮殿下【下】松井軍司令官を先頭に入城市中を行進—【飯空園】

筋肉の痛み一神經痛胃痛 過労の痛み
打撲傷靴傷 のコリ 胸咽喉痛

全属手組にあり 金二十銭 金二十銭

本舗 含維渡 邊 輝 網 藥 房

英蘇兩國の尻押しに

かは間にずして明かであらら たら、次いで來るものが何である。

銑鐵生產高

人は何時も健康でなの美のために、御婦の

ければなりません

記庭築は進む

葉ではありません さした単純な外傷 権限や準荷を主蜘

日本は六位

早くも底は見ゆ

将の叫びに和するは弔鐘

に客域するに至ったのである。し

答のゼスチニアを示す一方、疑り、今となつては列閥の迷惑であり、 大上海路落の際から早くも日支調一ついありとしても、長期抗日が、

從つて、南京脱山後の蔣

東拓系の

道工事清津城津の道路

落八千頭貨出一億五千九百七十五

有煙炭增產

創立決定

綜合輸入機關

來審愈本格化

5. 郷生産商は左の通りである(単位・年)に全力を解説してみるが最近複貨に全力を解説してみるが最近複貨

に伴び脳米各国とも総銀類の特定

各道の土木費補助

代に呼酬して全面的に次の各級職部出に落目してるたが石炭特定時

目指し今回興中公司及び紡跡。在 よれば北支艦花の内地輸入促進を

罪制、職化同業官の機議三個世が

った即ち徙前より同系統で戦争連

かも、ソ聯の関係的環境は九國育

破棄されて伊太利の脱退に脅し、 **金騰は、列展の利害及関心の利益 外帯。内装、南京のルートが連続。日本の神速な軍事的成果の前には、介石が南島で更に抗日戦を単備し** と見るべきであらう、然るに充國 取り型頭吹略、太原攻略によって ◆ などする所である。 地望また |満洲國不永認英議』を によって既に完全に失敗し、國際一されるに及び、その援助に質質的 に既してゐる。一方九國會議で主一些群等のため、對日戰備の條件に 次でなく、聯盟自身が開選の危機一つ、ある事實と、國内農然工作の **文雅側が希望する對日制肥所の沙|騰以後派次孤立化への傾向を辿り** 

て對支援助に今日以上の黙証を

派に対抗せしめた事は、ソ聯とし

道路費中で目立つものは

産金助長の道路改修

の物料を下ろし、抗日戦を展開す|

全鮮の肥料商

を同時に、國民の母として、 の主婦としての大なる遺伝版を と同時に、これらの婦人は、

操に主婦たるべきとを開はず、 離離を更に深く反省し玩味し、の心臓へに於て、今日の処質な

をその子女の上に概化づけて行

揃したかといふことを、實際生 整理はこの程度に留めたものであ 市場で行はれる習慣なので一市場 現在數整理數を示せば左の如くで て根本的整理を計る意向であつた

然するところなきかを類か、今

「泰天十七日同盟」 消別重工業別 | パーの網香に歌心することになつ | 有力に搭頭し、落皮質現の機運に

**満鐵内に有刀な促進論擡頭** 

の経管方針を根本的に是正型化す一のぞみ)はヘルピン延長、滴支直 たが、これを実権として関内総道一向ひすでに諸群直通列車(ひかり

十八圓二十錢 京城府永

\* 也 累計金七萬九百二米 也 累計金七萬九百二

鮮銀引織さ

限外を増發

度の四百萬圓內外の水揚あるべく

おらはしいものです。変されるものです

相場は例年と大差なさも昭和十年に姿を現らはし人気を呼んで居り

朝鮮防空器材献金

七十五百二十二萬六十四で前日よ

本府卓球大會

大陸鐵道ブロツク

十二月十八日取扮

總計 金十一萬三

千四百九十七圓

一めて良好で、既に全南道莞島方面

では本月初旬から新藤苔の採取に

し去る八日頃から新物が市場

苔は窓波の襲來と共に換回成績域 作を懸念されてるた本年電朝鮮症

時職気のため背極者の發生で凶

、滿、支を通ずる

時間の駆倒の中にある者は、驟の大きな奉仕であると思ふ。即

その現在の利益に於て極東に於け、第一派の如きトロッキストを重用 用するに至つたのであつた。然る る日本の感情を歌し、又は一颗を たのである

現に表表の表現。は発金に我に関したが、総来技法「の急がとされるので、我敵疫苗薬」に整理することになった。この前「増に対して使用は五千四百七十三、完全に十個家を突破するものと集。 東北東京 (本) - 市友保管により長江一帯の標準値 しこれを唱化概定することは刺す」にて国職付職請八千罪を新に北支 (比し気金三百八十三萬三千間の小) 郷がによれば1. 月末に至っては るに至ってゐるのである。而して一支那に於ける情勢の進展に伴ひ益 せしめ、游政権またその反共主義。沿岸貿易に從事してのた我同唯一

整理を行つてゐたがこの鞭約了、

製株局では朝鮮肥精配権統領の削る

の船倉祉たる日

鮮からも朝鮮戦船が驀加すること 肛の田安の形式は全部現物田安と ることとなる模様で、これには朝 一億百の一大國旅船會配を設立す

重慶を目指す

| 女の野殿が駅落で、其他が六百四| 定期 | 一会二会 〈四二字 十一月末 前月上

銃後の献金戦線

術と獨占してゐた英國の勢力範圍一へく皇軍が第二世の方家を進めて一 帆路にも並出從來支票改足航路を | 政府に最後の徹底的打撃を與へる | 朝鮮運送永澄浦出張所配員一回か | 五 間 | 京城府旭町三ノ二 内に適田せんとする計畫で、とれ でのみならず北、中、南支沿岸一省くまでも迷惑からさめない國民一器が設として告託されたのを初め 江旅の魅行権は完全に我手に取

成署合育第五分會から百間が既空。助空器材度が寄託された 「特に五国の

镇いて殺戮、既に長慶をのんでる!

京城池町平川瓜谷代がん、三藤 から三十圓、成南利原脊技附設院 京城巡江道三の一一七流に施天氏

三十 国 京城府漢江道三/一

三 指本方 大日本國防婦人会

日計金一百四十一圓八

全南莞島海苔

好がありません。

( する理能が離まり何んので

採取を開始 豊年を豫想さる

累計金四萬二十五百七

十一圓四十一錢也

上版易學校見至から六回八十六銭

らは卅八四二十銭の島軍勢問

三菱形式

産前産後に

京城大和町の國防婦人育京

約四割を整理 残るは四千六百店

新政権と、浙江財閥との団権 表には一勝を以てしては、その全海軍力を 在の地中推を中心とする瞬時の構造を深くしてゐる。しかし英國は現

日清汽船を中心に 大船會社設立 △京畿道(三十六萬八千四百両) は産金政策に順應した目新らしい

の我國航台社を總職員して資子金 するはずである 日本郷船・山下汽船、大連汽船等 遮蔽船(1100噸)にて直続部日 | 賃田しは米其他の取引を示す手形の我側を登職者として、之れに大阪南船 | る、なは郷地の八千能は第工場の | を示したほかは各種別とも労加し 資本金二億圓、朝郵も参加す

公全北 (入寛へ千四百間) 道路並 主なるものは長項都修幸工事 主なるものは長項都修幸工事 山道路で修行州の下水工事で並命 

であつて、就中金山道路改修事業

十億圓に迫る

|爺墓行十||月末脚定は預金四個||十億萬町の減少となったのは南張 前月末全鮮銀行勘定

株式資配北支程花公司

冷え込みから直ぐ、こしけ

邪から思はぬ病氣となり、

婦人病になり勝ちです。

中のところ者がを實施中のところ者がを實施

明練いて新に明年度より着手する

ぐりよく健康で即らかな春 を迎ふるために喜谷質母散

**滓み止とを兼ねた** 治療と消毒と痛み

今までにない 純國産外傷薬

合ひません、何時も血のめ

病氣になつてからでは間に

٥

å

冷え症の手當 売合質価数は、新聞を大夫に**建** 

三于三百英四子間、貸出九億八子|資金の題取が行はれたものと見ら

五百六十一萬九千町で、前月末に

れてゐる、而してこの質問者加の

主く理想的な治療で、脂もか弱らボカーへ混くするのですから らせて血のめぐりをよく、心か が外人組織に抵抗力を興へ、常





婦人病の手當

安盛するばかりか肥立ちもよく、 強制競技に政権を対限されますと ちで、また挿入歴策などは劇が過 はんとに安心です。第一郷婦のイ 所名だと作用週和で安全です。 さて副作用がある事がありますが 朝人病の手盤は、急ぐと失敗し歴



その上消毒作用がありますから、化膿を て治癒を早め、肌を美しくします。 をひき、更に優れた表皮形成作用によつ すり込めば、先づ痒み痛みを去り、腫れ ひび、凍傷、あかぎれに、サキシロンを 防ぎ、しかも局所を刺戟しません。

凍傷を防ぎます。 水仕事の後や人浴後に、よく水氣を拭ひこつてか サキシロンを擦り込んで置きますこ、ひとや

# ロンをつけますと、傷口を殺菌消毒して化膿切り傷、すり傷、やけざ、靴ずれに、サキシのの

怪我をした時にも

や表皮を新生して傷を治します。 顔剃後:化粧下にも ヒゲ剃り後に輕くつけますと、殺菌消毒作用 を防ぎ、いたみを止め、傷面には速かし肉芽

によって、剃刀負けや病菌の侵入を防ぎ、肌 をと、のへます。また御婦人方の化粧下、ア 止さしても重変です。

關東代理店 東京市本町 鐽 小西新兵衛商店製造發資元 大医市道修町 靆 武田長兵衛商店

はたけ・くさ等の皮膚病にも有効です。このほか、雪やけ、鼻カタル、鼻つまり、鼻症き

一〇銭三〇銭六〇銭一億二〇銭 存名東山

○ 武田 盤

87(1)14

勝利の陰にこの勞苦

んかして・・・・・ なにくしおめかしな

時間の水風呂浸り

北支の大軍を蹴破るまで

本社從軍特派員 松

支那兵は眞質に

素がありますが、日本はこの事にいるというに、清州事製徒六した、昔から油師大敵といふ言とで馴練したので、清州事製徒六した。昔から油師大敵といふ言とで訓練したので、清州事製徒のと願いと漸く日本の一般が知りま

らして書のチャンココ位に思っ」につたのです。そして色々の作戦をで曲腕があつたのですだか。年の今日では見違へる謎の軍隊と繋がありますが、日本はこの事

や譲ちやんは「あらッきれいた」と

と唯一心に辞様にお下がりする計

1リップ」や「しゃくやく」であ の悪口を云つたにくらしい『チュ

5/くつかまりました。確の中お前りのかひもなく「熊雀」はと

などして……幸ひ選後も郷菊も息 命に介抱をします、水をやつたり 子供たちはとれを見て難き一生歴

學点。

でます。思ひがけなく糖薬の葉し供たちも大喜びでこの鉄役と開発

ます、そとへ遊びに來た切ちやん

んは「娯後」がゐなくなった後で

した。氣取感さんとおめかし属さ さしい網絡さんと仲よしになりま

つきの「雪雀」さんの果を搬つて

を観つて脳の様に吹いた可愛いやめかし聞さんの『チューリップ』

無収録さんの「しやくやく」やお にしてしまほうとするのですが、 ず『私のところへ』と自分のお友達

レヤい」とまつてしやくやくない語

3開會の御挨拶

京好平平 池田林儀先生

8軍隊ラツバ吹爨 歩兵七十八章 東京東京教育 松田定久先生

7お話 勇ましい〇〇部隊

6少年劍舞

清

江藤旭喜會

附係の方 の方ん

十五 錢錢

王催

「銀雀さん私のところへ、いらつ

ス版大学、原名、配着、その他コーラー

【登場者】 チューリップ、しゃく

唱歌の劇 が昭和の子供・

ました、お互に美しさを自使し合

2 皇國臣民の誓詞 全員 1國歌合唱 全目

5 筑前琵琶 あい忠大「饗」號 4獨唱と唱歌劇、水下洞公立普

> 静隊ラツバ隊 ||第二路||

全員

フログラム

ンプ」としゃくやく」が吹いてる てあるところへ可愛い子祭雀が

るお脳の中に美しい『チューリ

今度の戦で

支那は日消戦争時代はとても脳か | リスやアメリカの兵隊だつたら

も、若し支那軍を攻める方がイギ

たが横民革命といふものがあつ。一ても勝つことが田来なかつたらく

然し私は皆さんにこの頂上に違

事製上市事種で、皆さんも知つて

今度の北支の職ひを見ると花々しるためにグン

行軍戦には

吸へ急ぎますが、この水地脈に入

如何に勇ましく花々しいものであ

んの数を見て、職爭といふものは 機を明んである勇ましい兵隊さ

の食民などで、城壁の上に立つて

「見て來ました、皆さんは新聞」とか、石家莊だとか、太原だとか れて嬉し海の裡に西域を明ぶので これを占領した時こそ、勇敢な兵 これは恰も山の頂上であります、

他つて勇敢な兵隊さんの有機を親 ||微電影者として太原攻略戦に||快きを味はふことが国來ませう、

南京 は ッ ち なり 大浦 内谷和靖兵撒子

5/10 mm #100 x100 童

わらひごゑがきこえて いりボンをおむねにつしそうなうたごゑや こゑをしながら、あか とひがともつて、たのいのに、う あかあか など」およばれもしな パガク! ぶつ!!・ つとクリスマスけ

のことです。 らおやまをおりてきまくるクリスマスのよる けて、にこくしなが した。 そ きょうくわいでは四ッ よりながら、おうたをけて、にこくししなが くくおまちへやつてき いおかほを、にこくくいりボンをおむねにつ とすましこんで、ごん とりんごのやうなあかいリボンをおむねにつ とすましこんで、ごん とりんごのやうなあか

うしろからかあさまう たちが、たかいだんの ゐるところでした。うしろからかあさまう たちが、たかいだんの ゐるところでした。 エッのちいさいこごも うたひながらおごつて へゆくんです?そん エスさまおうまれの

びよんびよんびよん おもひがけなくおとも まも、おもはずてねられしくなつたので、 ちひさいこごもたちは た、とうさま、かち | ざつたりうたつたりし





兩足は恰度

が米つて畑も て皮がベルとむけるといふ気の霰が米つて畑も て皮がベルとむけるといふ気の霰 お風呂に入つで手の平が眞白くな 一方山岳地帯の行軍戦もこれに劣

が騒から下腹までも選する水の中一時だけに大行山脈が山西省の東を一類を洗ふことが暮らしくなる程で 通つて干米位の岩山が玄海路の波 られ経告が伴ひました。支那は大 末です。こんなことは毎週ではと

だとかいふことは全然なくなつて「リカの測量院と天候観測者が続 戦地となると

を噛み、山西に多い路神を喰ふの「パクフイン・ランドに出かけた すが、そんなに楽山に親したもの れにようなつて枝をゆさぶると翻一千呎の高さの山脈が競見されま

間もかくつて天湫に出て來た兵隊がにはまるのです。その中を三日

汚いとか綺麗

が、ひとたび健康上の非常時を放ってするとともに、職所がを培するできたが健康上の非常時を放けるやエネルギーの消費が増大されるとともに、職所がを培ふたされるとともに、職所がを培ふたさいるのです。

国がありませうが、われく、 ではなる のが大へん多いものです。現場 合が大へん多いものです。現場 合が大へん多いものです。現場 ではない。 食然の減退にはいろくの飲 が出て抗病力も強くなり、延いては病島の治癒のから疑禁がよっ。食慾さへ起れば自然に平常の食べも食慾です。食慾さへ起れば自然に平常の食べも食慾です。食慾さんだった。 を著るしく早めることになるのです。 弱の人々に一ばん ん必要なもっ エピオス錠は無理に食慾を誘

世界知識

コドモの

鮫

太 郎夫

飯塚 脚一郎 限が、今北極方面から冬を造 初の調がりが六呎もある雪白の大 メシベリア …冬の珍客

(側は最終迄の局面)

て縁田 步

皆さんが長く

死んでゐる馬の肉を喰ふといふ始 んでゐる安那兵の持つてゐるメ て行かねばならぬ、腹が減つて

☆ア フリカ…

最近のヴィ

効果的です。

午後一時、同六時半

會場 府民館

けふ(日間日)

9 愛國歌劇,帝國軍歌集,九世

東京少女歌劇團

東京少女歌劇

10史歌劇 會津の少年。白虎隊・

京日 11京城日報鼓撃ニユースと漫響 コ ドモ

橋塚 爪<sub>田</sub> 田

繝かい二、三の過失が敗因 の回顧

其十局 住鼠、時に北極狐を取つて群食にひべりてへやつて來てゐます、と

金韻で王 トレンチノ地方で二人のイタリ

獲をみつけて玩具の銃で攻撃した少年が脚をさらつて飛げらとする ☆グリー ンランド:

時間水平線をくつくる題も月が ド及び北極の路島からまる二十四

☆南洋:嗚尊して綱となる

小され島が大百呎の高さにたり ありました。その時間面十六呎の

ても――日常適労の生活とそらしてっ、とことは、でじる的に各方面で吐んに用ひられます。病關體にあらざるま的に各方面で吐んに用ひられます。病關體にあらざるまエピオス錠は純國産の酵母劑で、病腸者の榮養增進の目エピオス錠は純國産の酵母劑で、病腸者の榮養增進の目 

の負債を與へる人々は、より健康であるやうエピオス錠

模谷產學博士監製品館藥學博士館製

遊園田

000

### ル合に確せさるを那に到しては 概に共観者歌を質施し特に用鑑 のたので摩北維ではこの駅各郡 のして本月八月現代の本道の用 がは相場前回より六十四緒あと 世際氏の利得金をあめ作で敷金の が選相場前回より六十四緒あと 世際氏の利得金をあめ作で敷金の が選手数と が選手数と 慶北道當局躍起郡を鞭韃 田穂歩合に遠せざる郡は中部以なってゐるこの割合に對し米副 日、星州弊山率化の各郡で道部 又進出越歩。倉質施郡は 達破迎 凝城。 曽松、柴州、夏篠の各郡で 州、金泉、信州、開慶、韓泉、北の安東、英島、慶州、永川、漆

日標までにあと二割八分

合に増せざる各郡に對しては一 **本年は寬甸鳳城恒仁の三縣**。

風城、恒仁の三朝に對し、下工事中であり明春までに被工す 更に復興期間を延長

ば二十割、昨年より三刺母のT

博

歳末警戒の

網にからる

【元山】平元東部級高原・城内川

貧者の一燈

兼二浦邑章决定 遠く内地、台灣の名地から

報題の結果次の三點を入賞者とし を見せたので、懺重に慎重を重ね

明春早々建設

江今春年所で計画を進め府首の幽 開城】六萬府民の多年の要望で た公立普通學校設立について

にあまる十五日正式に起可があつ概を経て進賞局に認可申請中のと 即時工事に着手の選びとなっても

水息」愛國婦人會分會長許那守

頭く快定 道に開歴界生間関で既後横一座も十六日各郡制質が次の

全く面目を一新する

咸興の新市街地

もつがあつて十二日道院有職供祭 てつつてゐるが、人間味用すべ

を脱してゐる多趣味な吉良皆意

人を刺し殺す

泥棒呼ばはりされた大工の恨み

十二日財本紙報道・勝田」の開布部なる人権と収載せる手腕|||州より水丘以来涌力至七ヶ月、そ

州より來任以來滿五年七ヶ月、

は邑孫格と共に初代島長として晋

【大邱】邀嫂郡玄風面、求智面、

赤誠の献金

離工面の解析脱百五十名

【野山】邑長柱笠州蔵氏は後進に

時局に威奮

蔚山邑長

達は那の

大邱府入り

群は朝鮮都市経営の手で

住宅を經營に決定 十五年度に十八萬四十一都市経營の手で一部は分職し

松二十七萬坪は

、
動水利組合が耐力された

|特百二十町歩の水田があ

要注単に珍る平野を中心

高層公普

て第一位を邑軍として採用すると

対映などが主なるものである 帝國○種子莊與、家屋紀蒙費

に張切る炭北道當局

後續部隊の割當ても決定

に渡してやつて臭れ」と鉱下の基

の動的情景を演出した を通じてこともなけに渡して歌歌

諸田凸長 辭任發表

活神興工作の方法は依然 いても出失と折断中であ

8約六萬脚となる豫定でこの群の 型品の運搬及び辦公費に止めるた

【大邱】慶北秋の移民先遺除二百、長淵稼を行ひ鮮滿一如の其精神を | で全く面目を一気するであらう

日盛北近に進した報告によれば もあるので茁目されてゐたが十六

和兵 総が明々郡東水町で子四井 和兵 総がり位 『報』の字の演案化丸 になった(カタトは』位入賞) 日 大阪市四城皇町郷上連三ノ七近▲第二位 『兼二米』の閲覧化 京城府人等町八ノ六浅川輝大本第三位「株」の字の開業化表別 旅を持つばかり……といる城しい岩も土壌も出来、今はたと後種が 先遺跡に強想以上の成功で一既に 使りでありこの使りと同時に道の

祝は今後に及ぼす珍様

| 競得させて三月の春早々、羅子游

へ送ることとなった、各郡の報當

は ▲遊鉄、家蔵、養城は全10月本 村部 原山二十月、高雄1十月、高雄 村部 原山二十月、香雄二十月、高雄 ・ 東州二十月、高雄・ 十月、東北二十月、高雄

傷病兵慰問

らっ邑マークのを順質が取したと、ほか明育戦部二十六名は十六日打【作二浦】邑では韓に吹く一般か、夫人、國院婦人育長権原告が夫人

ほか明合戦部ニナ六名は十六日打一

七百九十六點集る

にありとさへ見られるに至ったが 【仁川』正にこれこそ校者の「徳… 常川郎丹丁園遠奈里郎苗民六十 四名に四側三十七四を向古原里 二十五名は一側回番里三十九名

一関七十八歳。同谷大里四十六 名は五期三十四城 同三十里四 七十名は月面十一直域 同三十里四 七十五名三関八十歳。同次中里 七十五名三関十二名一 四十名五四 五刻半一名一郎 三十歳をされ、人最振関心と こう 野な着に着忙 して来たが、

十七日夜の捕物二郎 町部協前科二型旗艦九つ。の一味 中を折続し、設勢中の仁川署員が (その一)十七日夜十一時頃は山 四门,株山町一二安相水门门河金 から開始、治療住民の持無かれた

豫定收入を過に突破し高原璧の如新規だけに開業初日の貨客成績は が悲鳴をあげ保員を俄に増員する ほ间新線器は捍来山、難屯、杻田 きは押し寄せる東客のため出札係 などの上々景場がりであつた、な

舊曆廢止と斷髪

した、いづれも十八日二十回十一「永阿」忠州郡では去る十四日邑回

十三日逢に入百三十萬斤に達し、
た田継りを見つゝある忠南撤花は
【大田】配除郷とともに連日町盛 この代金質に百十萬回が即村に版

【七川】過級而工會議所が護員四一死した 船腹不足から

モウ公まで足止

内地行の三百五十頭が

られる物様もなく後へく にも影響し既に十一月十日神経病 るが、今年中にはとても船便を得 【銀度師】未食有の汽船不足はお一支期で時局對當聯孤會を開き、 南浦で正月迎へる

得る限りの報風もんことを消揚 数可決、直ちに各自の概念を集め

國の一員として結成にあつて出来

を関すしてみる 日達城郡職を訪問寄託した

儒林團 寄附募集協産 買では

勝した。
一般に対象が、
の音ないないでは、
の音ないないでは、
の音ないないでは、
の音ないないでは、
の音ないないでは、
の音ないないでは、
の音ないないでは、
の音ないないでは、
の音ないないでは、

時から都倉践室で郭登村振興委員会、一人権、山地では十八日午後一人権、山地では十八日午後一人権、山地・振安・員会 ◆シネマト 溶削

とを探知した福州署では直に十五一度丁で朝我したものであ

師走の海州に惨事

たものを内閣すれば左の通り 十六名の多数に上つたが機間され

取押へたが住所不定艦数萬つむとを突縮に逃走せんとしたので追跡

出澁る棉花の共販

現行犯一人(一件)學和不審短

沃川郡面長會議

趾會式株造釀鮮大

七割を占む

と共に競合された

府書記 府主事 岡田

内燃機 界,權

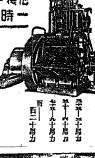
神谷内芬常長

開城を視察

絕对吳火紙其他準備操作。要是

各本願を管例、初度巡視のため上

'康健よめ帰



良から温まつて

漢泉温度家<sup>於特秀異</sup>る**ア**に夫大スマスマを体身 いつまでも 温弱な子供も 湯ざめせず 天然温泉に 元氣でふこる

雄本ブッハロ

浴コソ……

穴10ハップの勝る。

△婦 人 病

▲皮 膚 病

▲ぢ に ヨクキク

感胃豫防

開城 年末警戒 Ø.

…・現代木炭 | 戦闘の戦和軍を構すべく吉州方面 | を振い色祭の道器に努力、すばら

城津郡『斡旋に大童

に交渉したり山元にも強要し年内

しい功能を残し国民はその時間を

には十分勝用を充さうと東莞西走 情しんでゐる

解配に大道である

勇士家族に慰問品

替ガスの施行等多大の功能を強し「大邱」大明洞の運動場設置 公

岡田公營課長退職

に至り那守から替内事情を開き回 松南道路 金中福院常職等と今日 |拜の上府町に入り、府尹室で開す開、宋府尹の案内で開坡神社に

してれより離内を一巡の機関登録

に決したが十六日歌原園書館是等

と問題して午後八時養列車で開始

-ッ当力馬

立學院 博物館 敦夏尚出强所的

監督を撲殺

仲裁の鐡拳に貸慨女を繞る喧嘩から

提け話題立投けてゐた某週間新聞によったことについて中傷的通信記事と

に検束され 嚴重取調べられて 支局確如果に選に十七日夜世界

大 盤 製 産・在

車盘 

京城府京城區的

層金三國を振動ひ逃走中の盟か

選ばなんとた場が根拠にあった

耐料者で河夜大和町某飲食店

深刻な木炭饑饉

山元も凸不足を告げる有様に

見舞び一般問品を贈って深載なる。 機跡と駅間の窓を表し、即日路水

夜に午後十一時を押し、全管内に 年末聲戒網を張つてゐるが十六日 ら竹殿書と、押司法主任が陳頭に [開坡] 養務者ではまる十五日か 一夜に干人 網にかっる 内では貧四面が主産地であるが最 は打開館に廃心してゐる、城市部 るたが最近全く品に缺乏し組合で 拂つて一般への供給を開滑にして 近山元では親に嫌くよりは原木で

府戦員ご先 生のナス

井 こ 田荷を織りまた市中では『木桜仙 職く方が村が多いといる立前から 合がストックして資却しない』と の浮光があるやうだが、これらの 慰安に努めてゐるが、今回は各家 【水原】愛風站人會分會では毎月て桁公督器は岡田堂氏は今回退職 一回づく石榴が人家庭を訪問し、

職員の賞具金は二萬四千六百八 十五都 機関に昨年より四割者

重つで非常召集を行ひ.

署員の駅

別域】府職及び府内公立資連學 風で、府職員は二十三朝乃至 萬四千六百八十一圓、學校職

『主任は八方手を盡し木炭』『家庭を殿坊教団品を贈つて敷めた『主任は八方手を盡し木炭』 庭全部に對し数問品を贈った。

も悲鳴 メソジスト教育でも十六日再び各

動行について協議した
一氏から全殿員に設設、具盤化する
長行性を開催し、海階級正と繁製、吊提の時に設は十三日に至り諸田 ぜつと貨客の殺到 (人)が耐人を叱躍 ので同転場の現場監督石原光男氏 二人が女のととで曖昧をなじめたつとけてめたが、十五日も朝から 、組入金某と女を纏る態の闘争を 然寅郎休選・計かれて同帳場 新義州】平北朝州郡水豊福の城 |名を北支に応遼し経済調査を3 報場の土工業者会北高的郷

平元線高原・城内間の初列車に

を強いしたのを依怙し附近にあつ 石原の胸大な殴りつけ依例した後 もつとけて駆打即死させた、脈は 殘存マイト

農村は大潤ひ

|ること、たり、勝田氏は十四日夜

るは大邱府で工資味主事に祭逸す

に至った、即も草地と解へられた

恐喝もばれる で整治夫命が当じに十五日マイ 把日本鐵書所大口洞麟山第三颗坑 【新遊州】平北昌城郡東有面大島 で坑夫即死

トの野穴尻の紀日マイトが経験師

林ヌに朝

本此・大阪市北原茶屋町 文 1

昭和十一年七月一日 見在著作地質

理研潰酒

京城府南大門面四丁目 七六番進(斎藤ピル) 電話本縁(2)七五五番





軍國譜

相り贈れるに

新世界

溢る、





おくれてはものが、香蝉も結束地|熊原事以下道の関係徴員京城、仁

原金牌(四軍)端脊鮮泉湖雀網及廿二茶組合民) 胸背參示 (13年) 井

後の初群を自く頂く紫帝山々蔵。暮られた財士のうちには城死した

八日午後||時より南京故宮||野神の僕があつて同二時半想しく|

午後一時から京農道合議室に郷工

も旺んだる式を終った、何この日

ととたり、十八日午後二時から北一

前行宮殿下を始め奉り、定

と努力しようではないかと、川綱府が川帯のもと「軍者監製造

わたるや各様体銃、軍隊一連即内で打合せ會を開催した結果一從軍犯者を耽隔するほ子である。 車並に従軍犯者動用便を振進する。京職職、京後職の各班に分け時間「東京並結」日本新聞随會では且「各世から代表を建じ上海、歌画職

5、「我に今年は鮮丽一如の方針」「政策多の味を問めることとな

可憐な竇店少女

「何卒宜しく神」長指耀周さん(言)は里内縣田巡査門封(五段)海」忠北兵場新原場面邑内里第一萬々

の召集せらるとや選早く不適なそ

一個く小使で月五四宛の月給を給せ

(15)は、居里泰昌鐡山事物所に立

のと雖も無い権に狙れぬ、自分が

豆 タクで 災難 京城駐積

貧の中にも

を知るず、本面に電應多くその上

男を、南大門交番の佐伯・李頼遜群に南大門通りを通行中の経しい

の武大と断うした勇壮な漫画に脱るの手観が来た、野長以下感謝し 女 変に昨ず先亡―に可憐し、御嬰で毎日田徳淳人を見、愈と時局、恵北坂川野廷あてに右のやうた無 の成米版―賞年』では、夏女 次 異常に眺めて居るが今回の北支事 を傾けて貯蓄した中から五回を一べてみると、坂川郡場川面邑部里 し、日頃質素に而も真面目な職 は島井氏経費で青州監構内 てこの殊勝な無名女を極秘報に調

植兵金に使って下さい』と愛好 数技加融あやめさんと判明した、

泥中の白蓮

南京入城式の先頭を飾った海軍を樂隊―航空便

むるは鍼後の自分等の義称なりと一語の的となつて居る 孝子の勧勞奉仕

摩北開摩部東泰面は郡内中最も僻

の憂いなく安心の理に元親に出版。例を見、韓田巡査をして落も後職 せしめた、内鮮酸和の華として絶

に働いて居られる兵隊さんのこと

残り二面は自己の一ヶ間の小道と 前島保殿料一回は中事務養城代

常時にこそ、泉風の恵分の一たり

北支を戦場に

英米つひに起っ

こ云つても早合點するな

これは煙草の話

備に関係のお聴であるから斯る非

を思ふと音々國民は既つて見て居

十八日午後四時中ころ京城昌信町

お婆さん惨死

七四連轉手金遠珠(三)の連轉する

移し、あれこれと何不自由たく面し、その住宅を邑内の便利な所へ

関の路に出版する軍人に對し接跡

御異例の觀兵式

天津の南京陥落祝賀行進に應へる寺内軍司令官(軍司令部玄陽にて)

自動車鹵簿で行幸

河に御内定遊ばされた、 <sup>陸東島の郷長氏</sup> 陸軍軍を も儀裝 馬車は用ひさせられず、特に自動車公 東西語で行物説はされるのは機能合御制定以來伸始めての御事で、選奨だ

四法の遊奉納碑を強化すると共に 当法に對する國民の理解協力を得 裁判中の應召者に 公訴棄却の新判例

ovion 常日御正奘は用ひさせられず、御略章を御元嶋所下に清に時前に置くさせられ御服禁、郷郷予に職く大師心を用ひに既下れして代々木郷北海に行卒、饗れ布に領域を関はせられ其くも、大殿下れして代々木郷北海に行卒、饗れ布に領域を関はせられ其くも、大 御長靴をはかせられ颯爽たる御軍裝にて午

在監守の優遇 **り春から施行** 

等の必ずされ昭和十三年一月一日 **運集選却則は去る十一月九日附府** 既者の便道館である朝鮮行刑器

百同慰霊祭執行さる

風寒き南京飛行場で

支方面戦死者の

歸鄉勞働者

するやり十二月九日間で各刑務難しこの制度の目的達成に適率法務局では部下関係官と共に

者中福備期間満了によって最近国

遺法週間を設定

法務局長から通牒

に質施することに決定。すむ自然。すら日を中心として週間を質施し、移住物師者を剥合せしむる異あり、し能事たる指統な示しまった。 法保護日及び選法週間を全卸了整一度勘路がを新たに加へ、毎年九月。 世長(戒長)様となって自競的に、部業却の刺決を手しこ。間 同日 版に周知徹底せしめるため毎年間が、來年度からに昨冬新生した保一全後の労働署給銀節には率先して 全府法が局では司法保護事業を一となって質施し来ったものである。<br />
で特来土木和紫紫像。中陸として一 第5名かある○で、内が高さは)、毎日前名のデラフィン・ 第5名かある○で、内が高さは)、毎日前名のデラフィン・ これが結婚者が傾れ探行成組及好・地震が一部工廠で移しいと大路地 これが結婚者が傾れ探行成組及好・地震が一部工廠で移しいと大路地

**東京開館 地が局。郷利所が一種「施せられるもので、その目的に変」したり、その開闢保証に通牒を変ら「黒鯛、法神周、桑牟郡御所、「年より毎年十月一日から「週間賞」となり、その開闢保証に通牒を変した、即も司「忠鵬を会せて通道すること、し、「忠議育文に報告首を開催したい再法官殿に通牒を發した、即も司「忠鵬を会せて通道すること、し、「忠議育文に報告首を開催したい** 

初局長の名で高時法院を初め全難<br />
これが所間目的連載に内地と同様

松事局、熱利所が一致一施せられるもので、その目的に窓。法術局、全解釈教所、一年より毎年十月一日から一週間質

國境冬の陣强化

催する南京陷落祝賀京日コドモ大会で封切上映するはずであるで謝着するとになる。豫定通り者けば午後一時から二回府民舘で開京に空警の発行。紫金巻り、けら十九日年後を時世五分及及場行場第の、空の急行便の 分といる職業的記録で用被。同六時二十三分無事時ノ巣飛行場に指定したが、同映酷に更に東

もたった! つのもの

東支那混る一気に欄間に向つて飛び南京――廟岡間一千百キロを三時間五十四

小航空便で到着

解決する資金に難してだったの

大阪劇場に鑑み

町一三五金英淑さんことは十七日

女上時ころ都染町 二二五光で昭和

對岸の匪賊は約三千

**と徐徳の日本空絵のメッラス線(小川叔行土操線・大森郷暦士同楽)に流戦・午後三時三十九世紀に仰く呉軍・中軍入展式・光景を収めた京日ニュース映播に既報の通り十七日南京県行場世紀に** 南京入城式

これに対して宇野郷州長は「老職」訴を集却せ上と城場的申請を提出 (確實の自族動発に對し異核会)を添へて『北支特兵に贈つて下さ』 映版そのままの活劇を演じ舒建された第十二回公判において『家質の日本刀節前物二日に会育頃』 によら望るので建無機が足距跡に上げ、るとそのまく も速率 附近の歴報、四近の世報、古人てきた。『多のようまもまり』 百圓添へて 

た名詞状として誰へられてゐるといりと落田した。こものもその家族も異同のため、」と落田した。

日本刀二口に

神兵隊事件被告に適用

所たる下衙屋の幅に首ひよつて繋 **るうち窓食町一七○秋薬子之助氏** 

ほ込つ主人の戯に迫り子供まで部|蛟食し南大門通一ノ三季寅永氏酸

附品要代二百六十四を核領したこ

一中非家具部に難めてゐると言の

支配人御用

一店員、京城機井町一ノ

女に言ひ寄っては横領

いる後 本町岩で東調べられて一郎人比相談(こと)十五日夜並

鍾路署の捕物

を横領 カフエー、遊郷で夜の貴

郎氏が京城南大門連野路ピルに際

いよ~~ら開店

远國有鐵道中央觀光局日本支局

:觀察に

遊學に

来れドイ

ッ

华務所,神戶市神戶風北野町二丁月十五ノ四

院は大衆食堂二三四階は和洋支 非特理とし金子代の宜概をかねた

故お関合せ次第無料で差上ます。又御途付申します圏最近豊富なるパンフレタト印刷物取揃へて有ります

案内所 神戸市神戸原西町四二ノー(54年時)

選者な元店員

されるお歳暮の · 查營運運用製花柳病專門 

状態はある 黴 流 毒 疾 Lebes ene (March

東四新町坑停崩。にして内容完備空間あり

宿養縣

**※** 日日第4

女店 長環用が計レジスを 窓具及屋供書を付をたる。 京城南大門連四丁目 京城南大門連四丁目

開下

天津 安店指店员互集 住來談 京城 未集可二 市本五八八番 植 西 酒 店

女 

猫近

看 文章 经支还是图书题品募 京城府若草町一10 京城府若草町一10

京城市三坂通 『銀倉宅 逸 ペカ、優遇"、 給料其他面談 り、優遇"、 給料其他面談

代 参 採用、多少托柳和砂本人賦脈寄持姿来読のこと 本人賦脈寄持姿来読のこと

本町一丁目入口 医神士 坂

井

旓

耳鼻咽喉科醫院獸

所員料和英"人)は主家の化粧品

文章 マース 高級住宅三坂二路四 東大士二四の名大・大・八回 東大士二四の名大・大・八回 東大士二四の名大・ナ・八回 である。 高級住宅三坂二路四 である。 高級住宅三坂二路四

新 曼 管 山葉ピアノ 平盛30 號

+

空河 具 機附屬中共高假質人 寫成機械材料一丈脈與 京城武橋町 菊田寫與館材料最 京城武橋町

お子様のために

是非一台を! 金五百九十圓

特別拿贝

英字が予算集 新聞歌、弟子教名や郭子 新聞歌、弟子教名や郭子 美容和一個和月に編入 市内は本人疾動、地方は置随審差 作内は本人疾動、地方は置随審差 作内は本人疾動、地方は置随審差 に対しても人疾動、地方は置随審差 に対しても、疾動、地方は置随審差 に対している。

大阪明星美容室京城店長衛町一二八朝鮮ホテュ前

EA

金錢

オルガン ピアノ

金三十八圓小

カタロダ連

党部本局(2)三四八五番 東 級 本 與 器 會 计四 百 萬 圓

製造家募集ツギノが軍手

F 子製造の案内書を目所に対介を打

(各地に舞り店あり)

京城府西大門町一ノ八四 京城府西京 城安 店 常縣商會京 城安 店 常縣商會京 城安 店

造製の無代での無常は東の東京での無常は東の東京での

常縣也會 蘇齊妻明心新岩洞(三信雨食)

けふの天氣

【珍名解稿】大阪市





たりとも鮮内を優酷せしめざる決。電荷、耕安、曜日、telm、1987年の名外、各種新鑑武器を以て一歩、電際技、提請や常見之三十の遺伝

する新窓の低泉横を活動せしめて

怒 9

田櫻 段三年

鉢の向よ側に塗って、緩か うしてもお金の工面が附っ

何はともあれー









新人推薦の午後

1時10分(大)

オーバースの場合の大阪洋

**企**職

至50,00

(東) ラデオ酸锑 肞 S云ふだらうoいや、云ふばかり 返せないと云つたら、顯測は何

雄郎

**莉製品發** 海の牲

鲁祖 (1)

福岡の

名刹追宗上

病地性 者に職に の出十よ

選問

○東東有 統和一個選等部 江 原 丸 正 原 丸

より

於 施 館

+

、 育不全症 支加答兒

報 香 (中央) 中 市 (日本年本) 中 市 (日本年本) 日 本 (日本年 (日本) 日 本 (日本) 日 (日

**高**汽船 化出机 

·野口商會

汽船出帆廣告



行(会行) 月廿屆定十十